

事業番号	05 05 09	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	(信州ACE(エース)プロジェクト関連)			担当課	部局	健康福祉部	
	運動習慣定着促進事業				課・局・室	健康増進課	
総合5か年計画	プロジェクト	4－1－2、5 健康づくり・医療充実プロジェクト			E-mail	kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6－1 健康で長生きできる地域づくり			実施期間		
		1 保健活動の推進					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5－4 賑わいのある快適な健康長寿のまち・むらづくり			H25 ～		
	施策展開	4－（3）地域の絆に立脚する「しあわせ健康県」の実現 ア 健康づくりの促進					

1 事業の概要

目指す姿	Action(体を動かす)の取組として、効果的な運動手法を普及することにより、県民の運動習慣の定着と生活習慣病の予防を図る。 成果目標：健康づくりのために運動に関する取組を行っている人の割合 66.6%(H24)→72.0%(H29)〔県政モニター調査〕					
現状 (予算編成時)	[青壮年期] ・メタボリックシンドロームが強く疑われる者・予備群の割合(40～74歳)が、男性は約4割、女性は1割強となっている。 (男性:40.9%、女性:14.4%【県民健康・栄養調査:H25】) ・1人1日当たりの歩行数がH22県民健康・栄養調査と比べて減少している。(男性20～64歳:7,430歩、女性20～64歳:6,731歩【H25】) [高齢期] ・要介護高齢者の割合が全国平均より高い。(要介護1:20.0%、要介護2:17.2%、要介護3:13.4%、要介護4:13.5%、要介護5:11.4%【厚生労働省「介護保険事業状況報告」:H26】) ・介護二次予防対象者の割合が全国平均より高い。(運動器機構低下のおそれ:18.4%、閉じこもりのおそれ:5.3%、認知症のおそれ:12.1%【厚生労働省「介護予防事業(地域支援事業)」の実施状況に関する調査」:H23】)					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)		【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施： 実施中		感染症予防事業費等国庫負担(補助)金交付要綱 健康増進法第18条第2項、第19条の3の規定による。			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	○健康づくりのために運動に関する取組を行っている人の割合 70.6%(H28)〔県政モニター調査〕 (設定理由：県民の運動習慣の定着を目指し、総合5か年計画の達成目標(H29)を踏まえて、各年度ごとに設定した値(H28)を目標として設定。)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績			
				H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)
	地域や企業を通じた運動習慣の定着促進	直接	・地域の運動支援ボランティア、運動指導者を対象とした研修会を実施。講義と合わせヘルスケア関連機器の体験と意見交換会を実施(29.1.27開催 参加約70名)。 ・健康づくりの「見える化」に先進的に取り組むモデル市町村の駒ヶ根市で、地域活動の中核となる運動支援ボランティアのスキルアップ研修会を開催(29.3.31開催 運動アドバイザーを派遣)。 ・ボールを使ったウォーキング技術研究会との連携による、各種イベントにおけるボールを使ったウォーキングの体験やガイドンスブックの作成と周知。	477	71	429
		合計	477	71	429	

区 分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
予 算 額	前年度繰越					項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
	当初予算		341	477	429 <th>目標</th> <th>成果</th> <th>達成状況</th>				目標	成果	達成状況	
	補正予算					健康づくりのために運動に関する取組を行っている人の割合	62.6%	65.7%	70.6%	67.5%	未達成	72.0%
	合計(A)		341	477	429							
Aの 財源	一般財源		171	239	215							
	県 債											
	国庫支出金		170	238	214							
	その他		0	0	0							
決 算 額(B)			126	71								
概 算 人件費	職員数(人)		1.20	1.20	1.20							
	概算人件費 (C)		9,931	9,497	9,497							
概算事業費(B(A)+C)			10,057	9,568	9,926							

目標に対する成果の状況	ACEプロジェクトの中で運動に関するモデル市町村を選定し、その取組を分りやすく発信するとともに、運動指導者等を対象とした効果的な運動手法に関する研修会、活動量計等のヘルスケア関連機器の体験や意見交換会を通じ、健康づくりの「見える化」を推進。また、集合研修と合わせ、運動アドバイザー派遣のモデル的な取組を通じ、地域における運動習慣定着の促進を図った。モデル市町村の取組を参考として、活動量計の導入による健康づくりの見える化や健康ポイント制度の導入を行う市町村も見られるなど、運動習慣定着の取組の広がりがみられる。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 健康運動指導士会や総合型地域スポーツクラブ等の関係団体の専門知識やスキルを県の研修会に活かすことや、次世代ヘルスケア産業協議会やものづくり部会とのコラボ企画など、県組織内の横断的連携を更に強化しながら、ボールを使ったウォーキングをはじめとした効果的な運動の普及を更に進めるとともに、健康づくりの「見える化」の取組を一層推進する。また、SNSを活用し、ターゲットを明確にした効果的な情報発信を行い、健康づくりの取組のより一層の普及を図る。モデル市町村の取組については、引き続き支援し、運動アドバイザー派遣の本格的な展開と合わせ、新たな団体の登録や取組を促進する。
--------------------	---